

第31回勝山市地域公共交通会議 会議録要旨（平成30年度 第1回）

1.開催日時：平成30年6月4日（月）14時～15時

2.開催場所：勝山市役所 3階 第2・3会議室

3.出席委員：敬称略

委員	福井大学大学院 特命教授	川上 洋司（座長）
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局	山本 一途
	運輸企画専門官（輸送・監査担当）	
	福井県総合政策部 企画幹	龍田 光幸 (代理 中屋 貴大)
	奥越土木事務所 勝山維持管理課長	鈴木 常仁
	勝山警察署 交通課長	吉田 真人
	勝山市区長連合会 会長	杉平 信夫
	勝山市高齢者連合会 代表	松下 文男
	えちぜん鉄道株式会社 営業開発部 部長	佐々木 大二郎 (代理 吉田 周平)
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	竹田 幸弘
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦
	勝山市副市長	松村 誠一（会長）
	勝山市教育部長	平沢 浩一郎
	勝山市建設部長	酒井 与志弘
	勝山市商工観光部長	水上 実喜夫 (代理 北川 昭彦)
	勝山市健康福祉部長	松井 隆治
	勝山市市民生活部長	伊藤 寿康
事務局	勝山市市民生活部市民・環境課課長	河野 誠
	主任	森 弘章
	主査	石田 剛士

4.欠席委員：国土交通省中部運輸局福井運輸支局首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）畠憲治
京福バス株式会社 経営推進室企画営業グループ 部長 矢部 良智
福井県交通運輸産業労働組合協議会 森 司

5.傍聴人の数：0人

6.報告事項

- (1) えちぜん鉄道の運行実績について
- (2) 市内バス路線の運行実績について
- (3) 「恐竜博物館前」バス停留所の移設について

7.議題

- (1) コミュニティバス北郷予約便上り第2便のサンプラザ前バス停までの延長について

8.会議資料

資料1 えちぜん鉄道の運行実績

資料2 市内バス路線の運行実績

資料3 「恐竜博物館前」バス停留所の移設について

資料4 コミュニティバス北郷予約便上り第2便のサンプラザ前バス停までの延長について

資料5 勝山市地域公共交通会議委員名簿

資料6 勝山市地域公共交通会議座席表

9.議事等内容

- (1) えちぜん鉄道の運行実績について

委員	平成29年度の利用者数は過去最高の360万人となったが、毎月増えたわけではなく、雪の影響によるものである。勝山駅～恐竜博物館のバス利用者数が減少しているとの報告があったが、他の主要観光地でも観光客の入込が減少している。永平寺口が▲6%、三国が▲1.3%、あわらが▲3%となり、県内全体的に観光客が減少している。
座長	2月の大雪によって電車の利用者数が増えたということがクルマ社会の現れである。

- (2) 市内バス路線の運行実績について

委員	担当するすべての路線で利用者が増えた。H27.10の路線変更によりバス停を増やしデマンド運行を取り入れ、利用者にとって便利になったと思う。市内観光バス「ダイナゴン」は、恐竜博物館にも停車することがまだ知れ渡っていない。また、市内観光バス「ダイナゴン」は、一部で生活路線として使われているため、これを取り除けばもっとよい路線になる。
委員	鹿谷線の利用者は高齢者が多く、バスを利用する常連が減ってきてている。野向線は、中学生3人が利用し、定期券も購入している。荒土・野向予約便は、免許返納者の利用が多くなってきてている。障がい者より免許返納者の利用の方が多いという乗務員の声もある。

座長 2月の大雪の影響が、電車やバス、観光客の入込などのすべての場面に出ている。細かい課題等があったと思うが、今後研究していきたい。

(3) 「恐竜博物館前」バス停留所の移設について

委員 恐竜博物館前のバス停は、これまで歩行者とバス車両のルートが同じで危険だったが、ジオターミナルのロータリーを使用すれば、歩行者とバスの棲み分けができる、安全にバスを運行することができる。

委員 ジオターミナルにバス停を移設すれば、ジオターミナル内が賑わうと思う。バス停を移設すると移動距離が長くなり、高齢者にとって不便になるのでは。

委員 これまでバスルートと歩行者通路の境目がなく、子どもが飛び出したりして危険だった。事故が起きなかつたことが不思議なくらい。バス停を移設することで、バスと歩行者の区分けができ安全になった。博物館からバス停の距離は遠くなつてない。ジオターミナル内には物販スペースがあり、バス停を移設することで有効になったと思う。

(4) コミュニティバス北郷予約便上り第2便のサンプラザ前バス停までの延長について

委員 利用者からサンプラザ前で降ろしてほしいという声が複数あった。

座長 現在は、ゆめおーれ勝山前から歩いて深谷病院へ通院しているのか。

委員 はい。

委員 10月1日よりも早く変更できないのか。利用者のニーズに早く応えるべき。

事務局 少多少のバス停の移動であれば事後の届出で済むが、路線の変更となると運輸局の認可が必要になる。

委員 特定の便の一部変更であれば、30日前までの届出で可能。

座長 現在、路線はあるので、軽微な変更で済むのでは。夏場の400mの移動は大変だと思う。

事務局 できるだけ早く対応し、8月1日から変更したい。

座長 利用者のニーズに応える改正のため、積極的にPRしてほしい。

一同 承認

(5) その他

座長 高齢者の事故が多く、全国的に問題になっている。交通安全担当と協力して、運転免許証自主返納事業を進めてほしい。

勝山市の生活バス路線は、通学の利用が多いのが特徴である。学校とまく連携してほしい。